

## 独居高齢者の福祉向上を

公明党 福地 茂



問：市では、ひとり暮らしの高齢者に対し数多くの施策を実施しています。最近、「救急医療情報キット」というものが注目されています。今後もひとり暮らし高齢者世帯が増加していく中で、施策のひとつとして、この救急医療情報キットをひとり暮らしの高齢者宅に無料で配布する考えがないか伺います。

答（市長）：「救急医療情報キット」は、他の市町村で実施するところがあると聞いています。このキットをひとり暮らしの高齢者宅に無料で配布する考えがないか伺います。

トは、専用の容器に本人の氏名、年齢や血液型のほか、持病や服用薬などの情報を書き込んだ用紙を入れ、冷蔵庫に常置しておくものであります。救急時には迅速かつ適切な情報として役立つものと期待できると考えます。

なお実施に当たっては、消防、医療機関をはじめ、民防委員などとの連携が必要となります。また、記載内

容も常に新しい情報に更新

する必要もあります。これらを整理しながら、実施に

向けて検討していきます。

問：待望の圏央道海老名インターチェンジが開通しました。住民にとっては、周辺の交通渋滞などの生活不安があると思います。不安解消の考え方を伺います。

答（建設部長）：市道にまつた。市道にかかる問題については、

交通量調査を実施しながら検討するとともに、かねてから計画している「さがみ縦貫道路関連道路整備事業」に掲げている市道10号線の整備にも21年度新たに着手しており、関係機関との協議を踏まえて順次進めています。

答（市長）：開通に伴う影響はメリットだけでなくデメリットも生じると思いますが、市の見解を伺います。

答（市長）：開通に伴う影響は、県・市・中日本高速道路株式会社の三者が、それぞれの役割と責任の中で取り組んでいきたいと考えています。

また、利用料金について、関係機関に働きかけていきました。

また、100円引きについて、関係機関に働きかけていきました。

また、利用料金について、関係機関に働きかけていきました。

また、利用料金について、関係機関に働きかけていきました。